



兵庫県立姫路別所高等学校
48 回生学年通信
2025年2月28日発行
第30号(卒業号)



卒業する 48 回生へ



先生・後輩たちからのメッセージ

もくじ

校 長 先 生 よ り	・ ・ ・	3
教 頭 先 生 よ り	・ ・ ・	4
事 務 長 よ り	・ ・ ・	5
総 務 部 よ り	・ ・ ・	5
教 務 部 よ り	・ ・ ・	6
生 徒 指 導 部 よ り	・ ・ ・	7
進 路 指 導 部 よ り	・ ・ ・	8
保 健 部 よ り	・ ・ ・	9
各 教 科 の 先 生 方 よ り	・ ・ ・	1 0
部 活 動 の 顧 問 ・ 後 輩 よ り	・ ・ ・	2 6
学 年 団 よ り	・ ・ ・	4 1



校長 春名 正章

成長とは、幸せな状態に近づくためのプロセスである。(タッシー (Aqua Timez 太志 (Vo))「日本一たのしい哲学ラジオ」(2024 年 5 月 24 日)より)

よりよくなろうという気持ちを忘れずに、毎日を過ごしてください。

成長しようとして傷つくことがないわけではないけれども、きっとその傷も、未来の自分の糧となり、今よりも良い状態につながっていくはずです。傷ついた悲しみや痛みをさらりと捨て去ることができる人もいれば、時間が過ぎても忘れられない人もいるでしょう。辛くてたまらない時には、忘れよう、逃げようとしてもかまいません。けれども、きっと、あなたの心は、その心の奥底で痛みや悲しみを抱え続けているでしょう。抱え続けた時間がきっと、心を豊かにし、幸せに向かっていく力を育ててくれるはずです。



「出会い」

４８回生の皆さん、卒業おめでとうございます。

“人が一生に出会う人の数”って何人か知っていますか？これには、いろいろな説がありますが、次の数字が有名です。人生で何らかの接点を持つ人が30,000人。学校、仕事などを通じて近い関係になるのが3,000人。親しい会話ができる関係が300人。友だちと呼べる関係が30人。親友と呼べるのが3人とされています。では世界中には何人の人がいるでしょうか？世界には70億の人がいると言われています。そのように考えると実際に接点を持てる30,000人というのはたった0.0004%であり、一生の中で出会う人は、ほんの一握りなのです。そう考えてみると、みなさんがすでに出会っている、家族、友人、恋人、学校の先輩、後輩などは本当に少ない確率での奇跡的な出会いになります。人生の長さが限られているので、友達の選択、仕事の選択、住む場所の選択、趣味の選択、旅行先の選択など、全てが人との出会いに繋がります。一生で出会う人に限りがあるならば、限られた場所にとどまらず、違った環境に身をおき、ひとつひとつの出会いを大切にしていくことで、さらに“人生の質”があがっていくのではないのでしょうか。また、その人との出会いの中で自分自身に大きな影響を与えた人が何人いますか。その人はどんな人でしたか。私は、これまでの人生の中で影響を受けた人は、3人います。ここでは詳しいことには触れませんが、今思い返してみると、人生の節目、節目に出会っているような気がします。このような出会いについて日本の教育者の一人である森信三氏がこのように述べています。「人間は一生のうちに逢うべき人には必ず会える。しかも、一瞬早すぎず、一瞬遅すぎないときに。」という言葉を残しています。この言葉の意味は、自分が苦しい時や辛くて悩んでいる時に最善のタイミングで、必然的に出逢える人には出逢えるという事です。また、「逢いたい」と強く願えば必ず会えるという意味です。これまでを振り返ってみてどうでしょうか。このような出会いがあったでしょうか。私自身振り返ってみるとまさに、私が出会えた3人の人たちも、この言葉通りに出会えた人たちであったように思います。これから先、色々な人に出会う機会があると思います。このように出逢える人の数や出逢えるタイミングを大切にし、その出会いを「出逢い」という形に変え、これからの人生をより良い方向に導いてくれることと思います。また、君たちが「あなたに出会えて良かった」という存在になれるよう新たな場所で活躍することを願います。

教頭：前田 信

ご卒業おめでとうございます。
今後の活躍を楽しみにしています。

事務長 石井久美子

総務部 近藤 洋平 青木 文恵

48回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。新たな門出をお祝いし、一言メッセージをしたためます。

48回生のスタートは、教員にとっても新しいスタートの時でした。高校生活が始まることはもちろん、タブレットを導入した授業の展開、成績の評価方法や授業の内容も刷新された年でした。また、猛威を振るった、新型コロナウイルス対策が大幅に緩和され、中学生時に、思うように活動できなかった部活動も、高校生活とともに本格的に再始動しました。

1からスタート、というよりも、本当に何もない0からのスタートを実感しました。試行錯誤でスタートを切りつつも、48回生は、その「初めて」の体験を、教員の期待をはるかに凌ぎ、応え続けてくれました。

特に創立50周年記念式典においては、実行委員長である林田悠さんをはじめ、実行委員のメンバーの半数以上を48回生が担い、後輩ならびに、全生徒を牽引してくれました。式典開始前の受付の役割をした実行委員メンバーを見て、多くの来賓の方からお褒めの言葉をいただきました。また、榎本輝明さんと一緒に歌った校歌歌唱メンバーも、堂々たる姿で、有終の美を飾りました。

「静」と「動」の切り替えが早く、周りを見て協力・行動できる姿を何度も見せてくれた48回生。きっと後輩たちにも引き継がれていくと思います。総務部として、直接48回生のみなさんと関わる機会は少なかったのですが、いつも応援していました。これからの人生において、ますます活躍することを心よりお祈りしています。

3年間、よく頑張った！新たな人生に、光あれ！

卒業生へ

卒業おめでとうございます。君たちの代から、調査書などで君たちが目にする評価は、3観点評価となりました。各教科の評価が、3つの観点ごとに「A・B・C」で表されるものです。君たちにとっては当たり前のことで、なぜいまさらそんなことをいうのかと思うかもしれません。しかし、君たちにとって当たり前のことでも、社会の中では当たり前ではなく、長く続いた「1～10」の十段階評価をやめ、新しい評価基準に変わったということです。企業や大学では、高校から送られてくる数値を、昨年度までのものと同等に扱うべきか、別な数値として扱うかを決め、急いで体制を整える必要があった一年だったはずなのです。

ここからが本当に言いたいことになるのですが、君たちが当たり前と考えていることは、ほかの場所では当たり前ではないかもしれないということです。「常識とは、18歳までに身に付けた偏見のコレクションである。」という言葉がアインシュタインが残しています。「これぐらいで何とかなってきたから」が通用しないことが、この先多々あるはずです。そんな時こそ、自分を高め、成長するチャンスだと思い、自分のためになる選択をしてください。

卒業おめでとう。さらに成長し続けて、先生たちにも聞こえてくるような大きな活躍をしてくれることを期待しています。

教務部：片山泰宏・西村咲・名村文男

「栄光をたたえて」

生徒指導部

芝崎真誠

山田真紀

神田吉輝

新田静華

中田頌子

第四十八回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。前途洋々、今日の門出に心からエールを送ります。

高校生活3年間、当たり前のように生活し、授業を受け、友達に会っていたと思います。楽しいことばかりではなく、辛い思いや、大変なことも多くあったことでしょう。

皆さんが過ごした3年間で、校則や行事などが大きく変わりました。

- (1) カジュアルWEEK・カジュアルFRIDAY・カジュアルHOLIDAY・フォーマルDAYでのTPOに対応した服装
- (2) 交流体育祭の縦割りでのチーム編成
- (3) 交流文化祭の2日間開催
- (4) スマートフォン・タブレットの使用時間の拡大(朝の予鈴までの時間)
- (5) 教科書持ち帰りの緩和
- (6) 自転車の規制緩和(マウンテンバイク・電動アシスト自転車・ロードバイクを許可)
- (7) 制服の移行期間廃止
- (8) 携帯扇風機使用の規制緩和
- (9) ハロウィンの開催(仮装して授業を受講)
- (10) 靴下、コートの規制緩和

学校をより良くしていくこの思いから、時間をかけて検討してきた結果です。これまでの伝統や規則をかえることは簡単なことではありません。タイミングを逸してしまうと形として現すことができません。社会の普遍的なものを大切にするならば、考えることは多くあります。世の中には、取って法律に反した行動をしようと考えて生きている人はほとんどいません。しかし「これくらい大丈夫だろう」、「人が見ていなければ」とか「バレなければ」と考えて生きている人は結構いるかもしれません。その積み重ねが、自分自身を作り上げてしまっていることも事実です。大切なのは、「自由」の意味を自分なりに考えて、その

勝ち取った自由をどうやって繋いでいくかということだと思っています。この高校生活で「わがままな自由」ではない、「自由だが、何でもOK」ではないと交流文化祭などで感じたのではないでしようか。

それぞれが進む道には必ずルールやマナーがあります。しかし、なぜそのようなルールがあるのかを考え、私たちが何に対してどのように勝負していかなければいけないかを考える必要があります。中身で勝負するのは、その舞台に実力で立つてからです。勝利をもち取るには、我慢と辛抱が大切です。

四十八回生の皆さん、それぞれの置かれた場所で花を咲かせ、どこにあっても太陽のような存在になってください。自分が光り輝けば、周りの人も温かい気持ちになります。人生の最大の目標は「幸福」になることです。人との縁を大切にし、正義のために勇気をもって行動できる人になつてください。それが私たちの願いです。

保護者の皆さんにおかれましても、本校へのご支援、ご声援、誠にありがとうございます。姫路別所高校のよき理解者として、この先も応援をよろしくお願い申し上げます。

追伸

君たちと同じく私の長男も無事高校卒業となりました。同じ歳の子をもつ親として、子供の成長は、期待と不安でいっぱいです。期待していたら、見事なまでの裏切り。できるわけないと思っていたら、案外サラッとやり遂げる。わけがわからん「テスト大丈夫なんかな?」と聞いても「おん」、「わかってるんか?」と聞いても「おん」としか返ってこず、壊れたスピーカーのように繰り返される2文字。わけがわからん。「勉強するわ」と言つて部屋にこもったのはいいが、聞こえてくるのは友人とオンラインでゲームしている声。マジでわけがわからん。ハラハラしているのは、親だけなのか?と思う。ホンマにわけわからんわー!でも、わけがわかる人生なんてつまらない、わ

けがわからないからこそ、予想外なことがおこるからこそ、人生は楽しめる。これからの人生、泣き、笑い、怒り・・・、様々な感情渦巻く人生であってほしい、当たり前のことに感謝ができるように。

・幸せになるために多くの経験を重ね続けてほしい。

・良いと思える結果が出せるように力を付けてほしい。

・悩み事や問題が起きたら、小さいうちに相談してほしい、もちろん叱つたりするが、大きなればなるほど、手を差し伸べることができなくなるから。

まだまだ多くの心配や注文はあるが、ここまで無事に成長してくれたことには本当に感謝しています。私が子供から親になれたのも、あなたたち子供がいたからです。期待と不安でいっぱいだった子供の成長、でも、日に日に成長していく姿に大きな喜びを感じ、成長していく姿を誇りに思っていました。これからは他人に迷惑をかけず、他人に後ろ指をさされることがない幸せな人生であってほしいと常に願い、見守っています。

息子、娘に思いが伝わりますように・・・

(原文パパ)



48回生のみなさん、3年間の高校生活は充実しましたか。4月の始業式、学年の先生方がほぼ入れ替わったことを知り、困惑したのでは。今年度は困惑からのスタートとなったわけですが、3年間でたどり着いた進路の結果に、成果を実感することはできましたか。もちろん、充実感を達成感と共に体得できた人もいるでしょう。しかし、何ごとも思うに任せず、自分がイメージしていたことの半分にも届かなかった、いやいや、半分どころか設定していた目標にまったく届かなかったという人もいることでしょう。48回生 117名が 117通りの思いを胸に卒業の日を迎えていることと思います。

人生の節目の今日、今一度、胸に刻んでほしいことがあります。当たり前のことなのですが、なかなか誰もが継続できることではありません。それは、「正しい判断に支えられた理想を胸に、どんなことにもひたむきに向き合う姿勢」を忘れないことです。

「健全な倫理観」をもって一生懸命取り組んでいれば、たとえ、困難に遭遇してもサポートしてくれる人は必ずいます。しかし、現実 is 厳しく、くじけそうになる場面に何度も出くわすことになるかもしれません。そんなときこそ、「健全な倫理観」「ひたむきさ」に支えられた理想を思い出してください。

48回生のみなさんに、今後もたくさんの幸運がもたらされることを祈念しています。

さようなら。終わりは始まりです。



進路指導部

天野弘之

岩崎敏郎

垣見信三

48 回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業を迎えられた皆さんに、どんな言葉を贈ろうかとても迷いました。もしかしたら、新しいスタートをきろうとする皆さんを送り出す言葉としては相応しくないかもしれません。それでも、保健室でみた皆さんの姿を思うとこの歌が浮かんだので贈ります。

「おつかれさまのうた」 作詞：織田 智朗

今日も 1 日頑張りました 辛い時間もよく耐えました
まずはあなたを讃えましょう 疲れた心とその優しい瞳に
ひとつ ため息がこぼれても 涙はこぼさぬように堪えて
ひとりになったその瞬間に こぼれ落ちる あなたの強さ
ふたつ選択肢を求められ どちらも選べない時はある
悩んで悩んで出した答えは きっとあなたの道しるべになる
ひたすらに出てくる不満にも 逃げずに負けずに立ち向かうでしょう
誰にも見えないプレッシャーにも 戦うあなたのうた
明日のあなたも 笑えるように 優しい朝を迎えられるように
まずはあなたを讃えましょう たったひとり あなたの事を



窓に映る姿は誰でしょう 忘れてしまったあの日の思い
ひとつひとつ思い返せば 心に残ってるあの日のあなた
止まない雨には傘がある 晴れた空には虹が出る
暗い雲が空を覆っても 咲き続ける花のように
昨日 嫌な事があっても いつか笑い話になるように
まずは 今がある事を ここにあなたがいる事を
頑張る意味が見えなくなっても 決してあなたを責めないで
まずはひとつ深呼吸 あなたはきっと大丈夫

3 年間、よく頑張りました。新しい春を笑顔で迎えられるように、皆さんの幸せとこれからのご活躍を心からお祈りしています。ご卒業、おめでとう！

保健部：中田頌子



国語

三年間の国語科の授業で読んだ文章をすべて覚えていますか？どんな人が書いた、どんな話であったか、先生方がどんな話をしたか、大まかにでも言えますか？

覚えていない？言えない？

いいんです。覚えていなくても、言えなくても。(三年生で読んだのはいくらか思い出せてほしいけれど…)

いつになく、国語科の先生らしく、太宰治の小説から一節を引用してご紹介しましょう。

「勉強して、それから、けろりと忘れてもいいんだ。〈中略〉学問なんて、覚えると同時に忘れてしまってもいいものなんだ。けれども、全部忘れてしまっても、その勉強の訓練の底に一つかみの砂金が残っているものだ。これだ。これが尊いのだ。勉強しなければいかん。」

(太宰治「正義と微笑」より)

高校の三年間で学んだことのひとつひとつを覚えていなくとも、それらは「砂金」のように小さいながらも皆さんの中に蓄積され、今の皆さんの考え方や見方を形作っています。

勉強しなければいかん。

これから先も、皆さんが多くの「砂金」を得られますように。

国語科 牧 直昂

理系のみなさん、古典探求の授業はいかがでしたか。ほんとうは、もっとたくさんの作品を鑑賞してもらい、世界や人間の真実の一端に触れてもらいたかったのですが、単位数やみなさんの多様な進路の関係で限られた作品しかお伝えすることができませんでした。この世界の素晴らしいことや人間の心の多様性を、これからの実体験を通してつかんでいってくださいね。

卒業後は、それぞれ別々の進路先でいろんな人に出会って、楽しいこと、苦しいこと、案外楽しいこと、とても難しいこと、笑ってしまいそうなこと、怒りがこみ上げてくることなど、今まで知らなかった世界観に遭遇していくと思われます。それらには素晴らしいことも、そして悲しいこともあります。もしかしたら、素晴らしいけれど、悲しいことが人生の真実の一部かもしれません。

最後のメッセージになりますが、どんなときも、自分の都合や快適さ、やりやすさを優先せず、どうしたら、自分を取り巻く周囲の人たちが笑顔になれるのかをよく考え、一生懸命行動してください。うまくいかないときもあるはずです。そんなときこそ、欲望を制御しながら自分の夢や良心を信じて進んでいってください。よいことがたくさんありますように。

理系古典探究担当 天野弘之

「四つの気」

垣見 信三

四十八回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

若い皆さんと出会えたことに感謝しています。

皆さん、これからは（これからも?）、「いま・ここ」を大いに楽しんでください。そのために、特に心がけたいことが四つあります。

まず、「元気」。健康でないと物事は楽しめません。若くても、いや若いからこそ、心が清健であること、体が頑健であることに常に気を遣ってください。

次に、「やる気」。どんなことでも、やりがいはあると思います。前向きに関わっていくことを心がけたいものです。得意なことは言うまでもありません。苦手なことに取り組むことで、一回り大きくなり、未知の分野に挑戦することで、知らなかった自分が見つかるかも知れません。

三つ目は、「根気」。万事、何らかの結果を見るまでには時間がかかります。早急に成果を手にしようとせず、粘り強くやり続ける過程を大事にしてください。考えたり、体を動かしたりしている過程が楽しめたら一番です。

最後は、「のん気」。あまり深刻に考えない。努力や精進は大切ですが、何といっても人間がすること、完璧は望めません。腹八分目ではありませんが、八割程度頑張ってみて、あとは何とかする、と楽観的に構えることも必要です。

皆さん、学ぶにしろ働くにしろ、今携わっていることに、元気で、やる気をかきため、根気強く取り組み、一日一日をうんと楽しんでください。何かが、誰かが手をさしのべてくれることをちょっぴり期待しつつ・・・。

48回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

三年一組(文I)と選択講座の国語基礎実践の授業をのんびりと楽しませてもらいました。

授業はもちろん、先生のおちのないしょうもない話にも耳を傾けてくれてありがとう。

さて、皆さんは今まで周りの大人に見守られ、ここまで育ててもらいましたが、これからはそうはいきません。今までのように育ててもらい、与えてもらうことを期待しても、思うような結果は得られません。なぜなら望みを叶えたり、求めているものを与えたりできるのは他者ではなく自分自身だからです。自分の思い描く大人になるためにこれからは自分で自分を育て、自らの進むべき道や方向を見つけていくよりないのです。時に厳しく、時にやさしく、じっくり自分と向き合って自分をはぐくんでいってください。

そんなあなたたちに谷川俊太郎さんの詩を贈ります。

国語：乾八重子

自分をはぐくむ 谷川俊太郎

悪いところと善いところ
悪いことと善いことと
ふたつはからみあっている
木に巻きついた蔓のように

自分をはぐくむのは難しい
自分を枯らすのは簡単だ

あなたを導くのは
ほかでもないあなた自身
あなたはあなた自身を超えていく
自分を発見し続けることで

自分を大切に見つめたい
今日も明日もいつまでも



地歴公民

3年間に及ぶ地歴公民科の授業を修了した君たちに、フランスの思想家パスカルの残した、「人間は考える葦（あし）である」という言葉を贈る。

宇宙のような規模の大きい枠の中では、人間1人なんて、葦（＝雑草）のようなか弱い存在である。だが、人間には“考える力”がある。この力は宇宙にまで届く。これこそが人間の偉大さなのである。

昨今では、この“考える力”を育てよう、というのが教育界のトレンドとなっているが、裏を返せばこれは“考える力”落ちてきてないですか？というメッセージでもあるのかもしれない。

大抵のことはスマホが教えてくれるため問題について深く考えようとせず、ただただ大量に生み出されている娯楽を消費して生きるのは、それこそ考えない葦ではないだろうか。

地歴公民科の授業で得たものが君たちの“考える力”のベースとなることを願っている。

地歴公民科：小嶋克政

48 回生の皆さん ご卒業おめでとうございます！

私は政治経済の授業担当として、2、3組の生徒たちと1年間ともに勉強しました。政治経済の授業の時に常に言っていましたが、「ニュースをみて、世の中の動きを感じてください」。これから皆さんはそれぞれの進路へと向かって歩み始めます。進学でも就職でも同じです。世の中は常に動いています。我々の知らないところで新たな動きが起こっていて、それによって社会が動き、我々の生活に影響を及ぼしています。その動きを少しでもつかんでください。そして、自分なりの考えを持ってください。授業では、専門的な知識というよりもそういった話を多くしてきました。これからの皆さんが前途洋々であることをお祈りします。そして、壁に当たった時には、『人間万事塞翁が馬』この言葉を思い出してください。

卒業おめでとう！

地歴公民科：相馬孝彦

『贈る言葉』

ご卒業おめでとうございます。

日本史探究(文Ⅰ)と日本史研究(選択)の生徒と1年間だけの付き合いでした。2学年の授業がメインの私にとっては、流石に3年生まで残ってきただけの事はあるなと思わせる面がたくさんありました。卒業するまでには、いくつかの難関があったと思います。君たちは、それらを全てクリアして今日に至っています。自信をもって羽ばたいていってください。

～羽ばたく君たちへ、ある漫画の言葉を送ります～

人間！

つまづくのは恥ずかしいことじゃない！

立ち上がらない事が…

恥ずかしいんだぞ！

両津勘吉

引用：『こちら葛飾区亀有公園前派出所』著者：秋本治

この先、何度もつまずいて下さい。その度に悔しい思いをし、立ち上がって前へ進んでください。そうすれば、人間はどんどん成長します。

また、どこかで成長した君たちに会えるのを楽しみにしています。健康には注意しろよ。

地歴公民科 芝田智明

48回生の皆さん卒業おめでとうございます。

地理総合の授業を通して、1組の皆さんと1年間という短い期間でしたが、楽しく授業を行うことができました。これから先、日々を送っていくなかには地理と関係していることがあるので、少しでも思い出してもらえると幸いです。皆さんが大きく羽ばたいていくことを期待しています。

地理総合担当：池内剛史

数学

48回生の皆さん、卒業おめでとうございます。

1年生の時に担任として関わっていた身としては、感慨深い気持ちでいっぱいです。当時はまだまだ中学生だったみんなが、2年生、3年生と学年が上がるごとに成長していき、行事ごとなどで後輩を引っ張る姿を見て、実は感動していました。

48回生のみんなは一人一人が本当に素敵な人です。この3年間の君たちを知っている数少ない教員の北川が言うから間違いじゃありません。今後も素敵な君たちのまま、成長してってください。

さて、数学としては1年生の「数学Ⅰ」「数学A」、2年生理系「数学Ⅱ」、3年生理系「数学Ⅲ」で授業をしてきました。懐かしいね。数学を学ぶことで論理的思考力が身につくと言われています。（この条件があるからこう考えられる、この前提があるからこれは違う、みたいな考え方です。）今後の人生、直感や感情で動くことも大事ですが、論理的に考えなければならない場面も必ずあります。この3年間の授業でその力が磨かれていったかは人にもよります。が、大事な決断をするときに、論理的にも考えなあかん、ということだけは覚えていてください。悪い人に騙されない大人になってください。

では、48回生の皆さんの幸せを心から願っています。

数学科：北川知幸

卒業おめでとうございます。3年1組の文系、しかも1年間だけの短い期間でした

が、授業がしやすいクラスで、機嫌よく授業ができたことを感謝しています。

これからの皆さんの人生が、夢多きもの、幸多きものになることを、心より祈念しています。

数学科：片岡 宏信

「数学が大好きな君たちへ」

芝崎真誠

48 回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、中学から6年間学んできた「数学」から、ほとんどの人が卒業することになりました。悲しくて涙が止まらない人も少ないでしょう。

この一年間、藤原先生からバトンを受け取り授業をしました。苦手な人が多い中、その苦手なことに挑戦している姿、苦痛に顔をゆがめている姿、ほぼあきらめ放心状態の姿などを見ました。いずれも最後は結果を出し、2年生のときと比べると点数UPした人は多いのではないのでしょうか。苦手でも努力した結果ですね。

さて、これから社会に出る上で様々な場面で「数値・数字」と向き合うことになります。売上成績、利益、人数、買い物など、その「数値・数字」から今後を予測したり、現状の把握など限りありません。それだけ使われる理由の1つに「数値・数字」は嘘をつかないからです。しかし、嘘はつかないが、その「数値・数字」を使い優位に立とうする人は多くいます。騙されず、「数値・数字」の本質を見抜けるようになって欲しいと思います。教科書からは学べない多くことをこれから学び続けてほしいと思います。

理科

卒業生へ

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。地学基礎の授業で、一番覚えていてほしいことは、地震の内容です。地震を正しく理解し、より自分の命を守れる行動を！授業でも話した内容ですが、君たちは、災害の時に、人を助けられる年齢になっています。困難なことが起きても、誰かを思いやり、自分の命を守って、頑張っていってください。

地学担当 片山泰宏

48回生、理系生物選択者の皆さん、卒業おめでとうございます。

生物学に興味を持ってもらえることを、心がけて授業をしてきました。どの分野でもいいですから、何か一つでも、記憶に残っていることを期待しています。上級学校に進まれたら、専門性を身につけて、将来の日本に役立つ人材になってください。 理科：岩崎敏郎

48 回生理系の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、化学の授業、お疲れ様でした。

1, 2 年生の 2 年間は北垣先生のお世話になり、3 年生から突如出没した謎のおばさん先生…。またこの人、猛烈な勢いで授業を展開していく…。今までの穏やかだった化学の授業が一変、毎回嵐のように現れて、去っていく…。そんな授業でも誰かがキーマンとなり、授業を支えて、先生の伴走を務めてくれていましたね。ありがとうございました。

「化学の魅力」を伝えたくて、でも時間が足りなくて…

一言でままとめるなら「化学は皆さんの周りにあり、皆さんの人生に彩を与えてくれる学問」です。これから先、歩み続ける生活の中で、ふと立ち止まって周囲を見渡してみてください。その際に、「あっ、化学だ!」と気づき微笑んでくれる日が皆さんに訪れることを祈っています。1 年間ありがとうございました。

理科：山下麻衣子

ご卒業おめでとうございます。

3 年間の高校生活を振り返ってみると、あっという間に感じた人が多いのではないでしょうか。私自身、皆さんと授業で過ごした 2 年間であっという間でした。

物理基礎・物理の授業の内容が皆さんの記憶にはどれだけ残っているのでしょうか。正直、面白くなくて苦手だと思っていた人の方が多いかもしれないですね。難しい内容も多かったと思いますが、物理という教科は皆さんの生活を豊かにする高機能家電やスマホなどの進化にとても役立っていることを覚えておいてください。そして、卒業してから身回りの理科に興味を持って過ごしてくれると嬉しいです。

山崎 育代

保健体育

48 回生へ

卒業おめでとう。体育で 3 年間。1 年 3 組だった人は保健で 1 年間。もう卒業？ っていうくらい早いね。年を重ねるごとに、君たちの良さが学年に溢れてきて本当にいい学年になったなと感じました。自分の学年じゃないけど、48 回生が卒業するのは寂しい。そう思える君たちです。みんなのいいところは、明るいところ、素直なところ、仲がいいところ。明るさと素直さは最強の武器です。これからも、その武器を使って楽しい人生を送ってください。

保健体育科：窪前栄太

48 回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

私は皆さんが2年生の時に姫路別所高校に赴任し、学年団の一員として48回生の皆さんとともに過ごしました。初めて担任を受け持つことになり、期待と不安が入り混じっていましたが、初めて皆さんと顔を合わせた際に温かく迎えてくれたことが、今でも鮮明に思い出されます。

担任として迎えた体育祭、修学旅行、文化祭…どれも私にとって初めての経験であり、すべてが大切な思い出となりました。その中で、皆さんの素直さや明るさに何度も救われ、支えられたと感じています。私にとって初めて担任を務めた学年が48回生で本当によかったと、心から思っています。3年生になってからは学年団を離れ、皆さんと関わる機会は体育の授業のみとなりましたが、それでも変わらず素直で明るい皆さんとの授業は、毎回とても楽しい時間でした。本当にありがとうございました。

これから新たな道を歩み始める皆さんは、さまざまな人と出会い、多くの経験を積んでいくことと思います。時には困難に直面することもあるかもしれませんが、決して自分を見失わず、一つひとつ向き合ってください。そうすれば、きっと道は開けていきます。皆さんには姫路別所高校で出会った、かけがえのない仲間がいます。これからもお互いに切磋琢磨しながら、それぞれの道を歩んでいってください。48回生の皆さんが、充実した人生を送れることを心より願っています。【保健体育科】梶原 洋次

48回生の117人へ

保健体育の授業で関わったのも、学年で関わったのも2年生からでしたね。体育の1年生のメインは小林先生、2年生では梶原先生、3年生では私。それぞれのやり方で対応するのが大変だったかもしれませんが、見方を変えれば色んな先生と関わってよかったね。

集合時間は、始まる時間の3分前ですが、最後の1年はそれに対して「急げ」と言ったことがない。むしろ「早すぎ」と言う程体育の時間が好きな君たち。おかげでスムーズに授業進行ができました。ありがとう。

1組は2年の時からずっと1組だけの体育だったので雰囲気が独特でした。静かにコツコツとするタイプ。2・3組は元気でユーモアあふれるタイプ。それを混ぜたかったので3学期は、全体体育をしました。48回生だからこそ、できる。と。細かいことは抜きにして、楽しんでくれてありがとう。

また、したいね(o^ー^o)ニ

保健体育科：山崎 千穂

48 回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今まさに、たくさんの「別れ」と「出会い」を経験している皆さんに、私が好きな歌詞を少しだけ紹介します。ケツメイシの「出会いのかけら」という歌です。

「さよなら」はいつも悲しくさせるが 痛みを知って 優しくなれる

受け止める人 裏切る人も 何かに気付かさせてくれる きっと

また自らを知り 進み出す 新たな出会いが 未来を作り出す

巡り会いの中で生きてく また人を少し好きになる

喜びや悲しみさえ全て 自分の事と受け入れたなら

恵 愛の中で満ちてく 逃げずに自分の事も好きになっていく

出会いも別れも乗り越えた 君はもう一人じゃないよ ずっと

永遠に ずっと

新生活が始まる皆さん。無理はしすぎず、新たな出会いを大切に生きてください。

皆さんとの出会いに感謝しています。本当にありがとうございました。 保健体育科: 山田真紀



芸術

ご卒業おめでとうございます。ご卒業にあたり、井村和清氏の「あたりまえ」を贈ります。

あたりまえ

こんなすばらしいことを

みんなはなぜよろこばないのでしょう

あたりまえであることを

お父さんがいる お母さんがいる

手が二本あって足が二本ある

行きたいところへ自分で歩いて行ける

手を伸ばせばなんでもとれる

音が聞こえて声が出る

こんなしあわせはあるでしょうか

しかし、だれもそれをよろこばない

あたりまえだと笑ってすます

食事が食べられる

夜になるとちゃんと眠れ そしてまた朝が来る

空気を胸いっぱいにする

笑える 泣ける 叫ぶことができる

走り回れる みんなあたりまえのこと

こんなすばらしいことを みんなは決してよろこばない

そのありがたさを知っているのは それをなくした人たちだけ

なぜでしょう あたりまえ

平凡なことが、実は非凡であることを胸に、これからの素晴らしい人生を歩んでください。

さようなら。

書道：上月通歳

人は誰もが自分の人生を描く芸術家です。

作品は個々に異なり、美しさや価値は唯一無二です。

でも、もしかすると時として思い描いた通りにならないことがあるかもしれません。

ですが大事なのは、それさえも魅力に変えてしまうことができるかどうか。

つまり、作家次第で捉え方は変わるということです。

未来ある皆さんに今伝えたいのは、人の評価や常識で自分の能力に限界を設けず、自分の可能性を信じ謙虚に歩み続けて欲しいということです。

期待して新たな第一歩を踏み出してください。ご卒業おめでとうございます。

音楽：上畠愛香

三年生の皆さんご卒業おめでとうございます。

さて、授業で作品を作るときに、私が「もう少し頑張ろう」と言うのを聞いたことはありますか？

その時、みんなから「もう頑張ったのに！」という返事がよく返ってきましたね。私が「もう少し頑張ろう」と声をかけるのは、作品がダメだからではなく、皆さんにはもっとできる可能性があると感じているからです。いきなりですが、私はゲームが好きです。なぜなら、ゲームでは経験値が目に見える形で表され、成長を実感できるからです。レベルが上がった瞬間、すごく達成感や満足感があって最高ですよ。残念ながら、現実の世界ではその成長が分かりやすい形では表れません。でも、実は現実でもちゃんとパラメーターがあるんです。ある日突然、自分がレベルアップしていることに気づく瞬間が訪れます。今の作品が皆さんにとって 100%の頑張りだとしたら、ちょっと頑張るだけで 110%の作品ができます。自分が 110%までできることを知れば、その 110%が新しい基準になります。これを繰り返すことで、最初の 100%がどんどん進化していくんです。例えば、HP10 が 100%の体力だった自分が、HP100 が 100%の自分に変わる感じです。同じ 100%でも、全然意味が違いますよね？つまり、「もうちょっと頑張る」を積み重ねるだけで、気づいたら大きく成長できるんです。そして、将来自分がしたいことを見つけたときに、「無理だ」「できない」と諦めないためには、必要なパラメーターを上げ、備えておくことが重要です。未来に何が起こるか分かりません。チャンスを逃さないように、「もうちょっと頑張る」癖をつけてみてくださいね。

皆さんの成長と未来を心から応援しています！

美術：川崎麻由

英語

卒業おめでとう!!!

短い期間でしたが、48 回生のみんなとの英語の授業は楽しかったです！素直で人懐っこい、英語は嫌い、わからないけどやってみる！という人も多く、うれしかったです。

そんな英語が大好きなみんなへ洋楽のいい歌詞を紹介します。

You don't have to feel like a waste of space

You're original, cannot be replaced

If you only knew what the future holds

After a hurricane comes a rainbow

Firework / Katy Perry

わからない単語は調べてくださいね。最後の文は倒置が使われていて、主語は a hurricane じゃないよ。

日本のうたや映画、作品が素晴らしいように、世界にはもっとももっとたくさんの素晴らしいものがあります。ちっちゃい世界で一生を過ごすのはもったいないです。視野を精一杯広げて、人生を豊かなものにしてください。

英語科：橋本裕子

英語科 近藤洋平

48回生のみなさん、卒業おめでとう。3年間、この学年の英語の授業に携わりました。振り返ると、担当者がコロコロ代わり、君たちには不憫な思いをさせました。その分、毎回の授業や、レッスン毎に少しずつ実施内容を変えたり、工夫をしたりして、英語が「嫌い」な君たちの気持ちを、少しでも改善できたらいいなと思い、毎日授業を行いました。

その中で、特に感じたことは、「みんな、本気を出せばできる」ということです。各行事や部活動において、後輩を牽引する姿を見ているだけに、授業でなかなか「本気」を引き出すことに苦労しました。

いろいろと無理難題も課しましたが、この文章を読んでいるということは、近藤の課題のすべてをクリアできた、ということです。誇りに思ってください。授業やテストにおいて、私は妥協をしませんでした。自信をもって、これからの人生を謳歌してください。

3年間ありがとう。楽しく授業を受けてくれてありがとう。

May your future be bright! Always there is a way.

ご卒業おめでとうございます。みなさんとの1年間は、私にとってもかけがえのない時間でした。これからそれぞれの道に進むみなさんに、樹木希林さんの言葉を贈りたいと思います。

「おごらず、人と比べず、おもしろがって、平気に生きればいい。」

この言葉には、人生をしなやかに、そして豊かに生きるための大切なヒントがつまっています。進学、就職、専門学校...新しい環境では、不安や迷いを感じることもあると思います。そんな時も、人と比べてあせるのではなく、自分のペースで進んでください。何気ない日常や挑戦を「おもしろがる」気持ちを持つと、どんな状況でも前向きに取り組めるはずです。

「平気に生きる」という言葉には、自分を信じて大らかに構える大切さが込められています。失敗を恐れず、一步一步歩いていってください。

みなさんの人生が充実したものになりますように、みなさんの幸せを心から願っています。また会いましょう！

英語科: 鈿持 僚子

48 回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

私は2年間、選択の授業を担当させていただきました。最初は不安でしたが、みなさんに助けられて楽しく過ごすことができました。

卒業に際し、あるボーカリストが歌った歌詞とともに皆さんに伝えたいと思います。

—ひたむきだった遠い日の夢は 今でも眩しい—

どんなに不安がいっぱいでも まっすぐ自分の道を信じて—

—この先も躓いて傷ついて傷つけて終わりのないやり場のない怒りさえ もどかしく抱きながら
10000回だめで かつこ悪くても 10001回目は 何か変わるかもしれない—

この3年間、いろいろな壁を乗り越えてきた皆さんは確実に成長しています。これからも悩み事は絶えないことでしょう。そんな時は自分が歩んできた道のりを信じて挑戦していきましょう。みなさんが選んだ道は決して間違っていないです。いつかみなさんの夢が叶って笑顔の日々が続きますように。ゆっくりでもいい、何事にも挑戦し、着実に前へ進んでいってください。

それでは体調に気をつけて。また逢う日まで・・・。

英語科 名村文男

To the 48th graduates of Himeji Bessho High School.

First; may I say congratulations for completing your time at Himeji Bessho High School. The hard work you have put into the last 3 years has shown in your progress, your achievements and your personal growth. You have all helped to create an enjoyable environment for English class, through your positive attitudes and your continued hard work.

Second; may I say thank you to every single student for making each and every class a wonderful learning experience. Together, it has not only been myself teaching you all English, but you have also taught me something wonderful about yourselves – Your kindness, courage and willingness to continue when things become difficult. I have no doubt in my mind that each and every one of you will grow to become strong members of society, giving your skills and talents to the world before you.

Last; I want you to remember – Learning English is not a simple journey. Just like learning any other subject, it takes a lot of time – but with persistence and hard work, it will be a journey worth taking. I hope you all continue with your English progress, and will one day have the confidence to take it out into the world!

(“because” has a small b, not a big B!)

Message from Mr.clark

3 年生の皆さんへ

ご卒業おめでとうございます。

皆さんとは昨年度の 2 学期からのお付き合いとなりますが、初めてお会いした時からとても温かい雰囲気でお出迎えていただいた印象が強く残っています。そして、授業においても、行事においても、一生懸命取り組む姿勢を見せていただきました。

さて、4 月からはご自身で選択した新たな進路先での生活がスタートします。新しい生活に期待を寄せる一方で、「ああ、あの頃はよかったなあ」と高校生活を思い出し、思わず寂しさを感じてしまう時があるかもしれません。そんな時は思い出にどっぷり浸るのもよいと思います。なぜなら、それはみなさんがこの 3 年間で作り上げてきた大切な思い出だから。そして、それは一見ご自身を後ろ向きにさせるようなものに思われがちですが、これからの人生を一步先に後押ししてくれるものでもあります。もちろん楽しい思い出ばかりではなかったとは思いますが、3 年間この姫路別所高校で仲間と一緒に過ごしたという事実は、これからの皆さんの生活に何らかの意味をもたらしてくれるでしょう。そしてその思い出の 1 コマに私も皆さんとご一緒させていただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。

英語科：堀越早苗

家庭科

ご卒業おめでとうございます。あっという間の3年間でした。これからの皆様の人生が充実した楽しいものであることを、心から願っております。

フードデザイン

1年間 調理実習を通して、多くのことを皆と一緒に、楽しく学ぶことができました。この経験は、あなた達のこれからの人生に必ず役に立ちます。自信を持ってくださいね。

技術は十分身に付きました。これからは、なぜ食べるのか？なぜおいしくなるのか？何を食べたらいいのか？などの食に対する「なぜ」を解決する力をさらに身に付けて、健康で長生きするための食を考えられる人になってください。そのための基礎は授けられたと信じています。

ヒューマンライフ

毎回の授業で、私も楽しく充実した時間を過ごすことができました。これからの人生に於いても、充実した時を過ごせるよう、好奇心を掻き立てられることを探し続けられる人になってくださいね。

家庭科 青木文恵

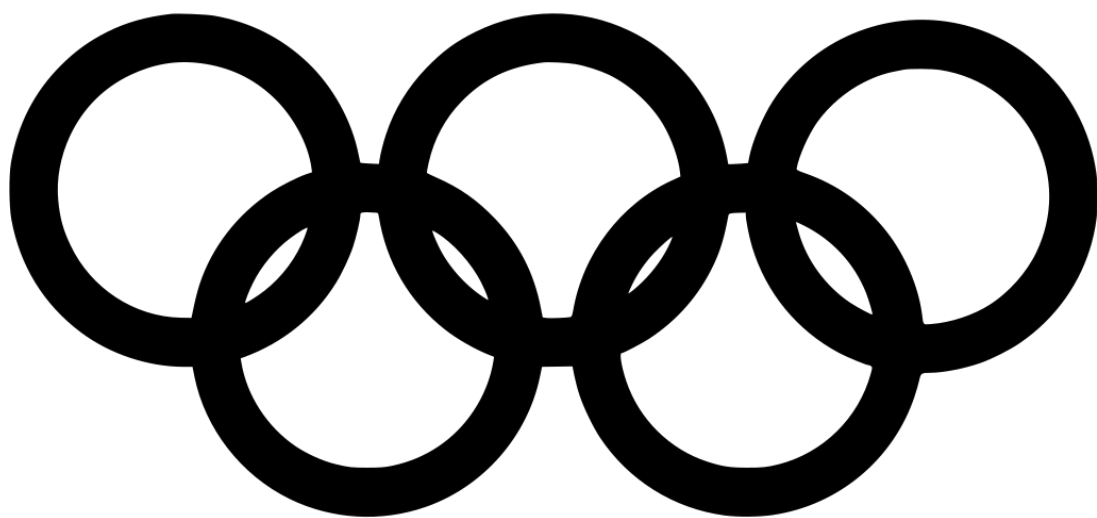
情報

ご卒業おめでとうございます。2年生の時は「情報基礎実習」、3年生では「情報活用」でお世話になりました。少人数の選択授業でしたが、君たちのおかげで楽しく授業ができました。ありがとう。検定取得に向けて前向きに努力していた姿勢は、さすが3年生！と感心しきりでした。最後の授業の時に「2年間ありがとうございました」と全員で挨拶してくれたこと、いつまでも忘れません。君たちの未来が輝かしいものでありますように。

情報科 深津友理恵

卒業生の皆様御卒業おめでとうございます。科目「情報の表現と管理」を2組と3組の皆様とこの一年一緒に過ごさせていただきました。様々な実習に取り組んでいましたが、特に思い出深い実習は「アニメーションの制作」だったと思います。

皆様の多くの作品は、6コマのフレーム内で物語がうまくまとめられ、各フレームの画像編集では画像の美しさに感銘しました。代表作品として各クラス3作品を、私のHP「たっちゃんの部屋」にUPしています。卒業してからも、「たっちゃんの部屋」に訪問して作品を観てくださいね。当時のこと思い出されたら幸いです。 情報科：立花博之



部活動の顧問

後輩より



48 回生野球部へ

恭平・神戸卒業おめでとう！姫路別所に来て3年。俺が初めて3年間

見た部員が2人。もう卒業かと思うと早い。正直寂しいな（笑）。合同チームに悩まされ、大会に出場できなかったり、ケガに苦しんだりいろいろあった3年間やったと思うけど、2人で最後までよく頑張った。監督として2人に出逢えて、一緒に野球ができて心から良かったと思う。ありがとう。

今の姫路別所高校野球部の形を作ったのは紛れもなく君たち2人。野球の技術もそうやけど、行事や学年での取り組み、野球に対する取り組み方が本当に良かった。何とか2人が頑張ってきたことが、姫路別所高校野球部の伝統になるように俺も頑張ります。

最後に。最高に楽しい未来にはばたく二人へ、ラストミーティング。

- ①今を大切に、一所懸命頑張りを続けること。
- ②自分に関わってくれる人を大切にすること。
- ③感謝の気持ちを忘れないこと。

普段から言ってきたことやけど、これが本当に大事。大切にすること。

迷ったとき、困った時はいつでも帰っておいで。これからも変わらず、応援しています。

顧問：窪前栄太

大谷・神戸 卒業おめでとう！

野球部の活動としては、約3か月間という短い間でした。

でも、4月にこの姫路別所高校に赴任し、硬式野球部の顧問として最初に思ったことは、「一生懸命に練習に取り組む生徒たちやな」と心の底から思いました。そして、のちに窪前先生から、その部活の雰囲気は大谷と神戸が作り上げたものであると聞きました。本当に素晴らしい財産をこの姫路別所高校の硬式野球部に残してくれたなと感じています。そしてその財産を、残された部員たち、我々が引き継いで新たな伝統としていかなければいけないと感じています。

合同チームとして挑んだ夏の大会も、1試合で終わってしまったけれど、本当に3校のユニフォームが、同じ目標に向かって1つのチームとなり、その中心に大谷と神戸が居てチームを引っ張ってくれました。もっと、このメンバーと野球がしたい。と思えるチームになっていました。

野球から学んできたことが活かされるのは、これからの人生だと思います。野球を通じて学んだ、礼儀・マナー・忍耐力・一生懸命最後までプレーすること。様々なことが実社会で生きてくることでしょう。『我以外皆我師』この言葉を大切に、謙虚に感謝の気持ちを忘れずに、今後の活躍を楽しみにしています！

本当に卒業おめでとう！

顧問：相馬孝彦



女子硬式野球部

卒業おめでとうございます。

君たちのお陰で姫路別所高校女子野球部が素晴らしい一歩を踏み出すことが出来ました。
あの夏の炎天下での全国大会は、これからのちも語り継がれることと思います。
本当にありがとう。よく頑張ってくれました。

卒業にあたって、これから新しい道へ進む君たちへ一つだけ伝えたいことがあります。

『迷ったときは、前に出ろ!』元阪神タイガース監督 星野仙一

人生は迷いや不安がつきものです。でも、一步一步、少しずつでも前に進むことで、必ず道は開けていきます。

無理をせず、時には立ち止まり、自分を大切にしながら進んでください。

身体に気を付けて、君達らしい人生を歩んでください。応援しています。

顧問：神田吉輝



硬式テニス部

久下ちゃん、徳井君、深澤君、ご卒業おめでとうございます。

姫路別所高校テニス部は、私よりも君たちが先輩で、いろいろ教えていただきました。ありがとうございました。

さて、この卒業をもって、皆さんはそれぞれの道へと羽ばたいていきます。それぞれの「らしさ」を存分に発揮してくださいね。私が顧問として君たちと関わる中で見つけた君たちらしさは、久下ちゃんの「ソフトタッチではあるけれど実は負けず嫌い」、徳井君の「芯はあるけれど周りに合わせられるしなやかさ」、深澤君の「見た目を裏切らない優しさ」。どれもこれも大切な「らしさ」です。次なるステージではその「らしさ」に磨きをかけ、さらに飛躍してくださいね。

そして、時々で構わないので、後輩たちのご指導もお願いします。いつでも待っています。

顧問：山下麻衣子



サッカー部

フィー、久明、バオ、出雲、卒業おめでとう！いろいろと出来事がありすぎて、サッカーよりもそっちの思い出のほうが強い、そんな学年でした。

バオは、一生懸命サッカーの練習に取り組み、考えてプレーをする選手でした。持ち前の明るさと、負けん気から、試合に負けて悔し涙を流している姿が印象的でした。周りからの信頼も厚く、キャプテンに選ばれましたね。そしてその後、ダンスをするとあって、キャプテンを退きました。私にとって、バオはサッカー選手よりも「ダンサー」です。

久明は、1年生の当初、吹奏楽部でしたね。野上先生の説得もあり、サッカー部と兼部をし、最終的にはサッカー部一本で最後まで頑張りました。誰よりも負けず嫌いで、サッカーでは自分の得意な部分を伸ばすことに注力していました。そして、久明といえば、みんなが知るピアニスト。50周年記念式典や学校の式典でいつも緊張していると言いながら、さらっと弾いてしまうところを見て、私にとって、久明はサッカー選手よりも「ピアニスト」です。

フィーの印象は強烈です。入部してきたとき、「ずっとサッカーがしたくて、入部しました」と、80kg 近い体型で話しかけてくれました。すごいのが来たなと思いました。ボールもまともに蹴れないところから始まり、日々のトレーニング、初めての公式戦ではフィールドで迷子になり、合宿ではスパイクを忘れ、ダムに飛び込み2年連続足を負傷。一方で、サッカー好きは体から滲み出ていて、体型も技術も、信頼もすべて最高のものを身に付けられました。それでも私にとって、フィーはサッカー選手というより、「アクシデント王」です。

出雲は、最後の最後にマネージャーとして、短期間ではあるものの、長く一緒にいるような存在でした。フィーの応援時に、「マネージャーする？」と声を掛けたら、いつの間にか居た、それくらい自然になじんでくれました。後輩の面倒見もよく、マネージャーとしての役割もしっかりこなしてくれました。私にとって、出雲だけはきちんとサッカー部の「マネージャー」です。

公式戦では、なかなか勝たせてあげられませんでした、3年間の濃密なサッカー部との思い出、トレーニングはきっと無駄ではなかったと思える日が来ると思います。また、いつでもグラウンドでボールを蹴りに来てください。一緒にサッカーできて、幸せでした。

顧問：近藤洋平



陸上競技部

森くん。キャプテンとして一癖も二癖もある別所高校陸上部メンバーをまとめる姿はとても立派でした。個人では、西播ジュニアで決勝に残ったのが一番印象深いかな。森くんの努力が報われたような気がして、自分のことのように嬉しかったです。

未来翔くん。本当に陸上が大好きで、オフもサブトラックに行ったり、いろんな距離にチャレンジしたり、とても良くがんばりましたね。朝練にも文句を言わずに参加してくれてありがとう。あと旅行先からのお土産もね。

松浦さんと望月さん。幅跳びピット作成、タイム測定、ライン引き…。あなたたちが引退してから、これらの仕事がほとんど僕に降りかかってくるようになりました。今では毎日あなたたちの偉大さを感じています。文句も言わず部員のために献身的に働く姿、とても立派でしたよ。

皆さん、卒業おめでとうございます。これから羽ばたいてく君たちの心の拠り所の一つに、姫路別所高校陸上部があれば嬉しいです。いつでも訪ねてきてくださいね。

顧問：小嶋克政

ご卒業おめでとうございます。

2年間、頻繁には顔を出せませんでしたが、キャプテンを中心に工夫しながら練習したり、動画を撮って分析したり、0.1秒でもタイムを縮めようとひたむきに努力している姿には、いつも感心していました。君たちが努力し続けた経験は力となり財産となります。松浦さんと望月さんも、皆が練習に集中できるようしっかりサポートしてくれ、また陸上競技について不勉強な私に、いつも親切に教えてくれました。ありがとう。

卒業後は別々の道に進みますが、3年間の経験を力に変えて、自分を信じて走り続けてください。これからも応援しています！

深津 友理恵



男子バスケットボール部

白浜・上田・中野、卒業おめでとう！

白浜へ キャプテンとして、よくチームをまとめてくれたな。新チームが始まったばかりは、プレー中に思ったことをすぐ主張してしまうことに悩んだと思います。練習や試合を重ねる中で、ちょうどいい伝え方を模索し向き合っていく姿に成長を感じました。練習終わりに「1対1やりましょう！」と汗を流した日々が懐かしいです。最初は全然勝てなかった白浜が、3年生になるころには張り合うようになってきて、内心では君の成長がとても嬉しかったです。総体の後もたくさん練習・試合に参加してくれてありがとう。

上田へ 「北：声出せよ。」「上：出してます。」「北：聞こえない意味ないねん！」何回したやろっていうこのやりとり、最終的に改善したかは疑問が残るけれど、、、。パワフルな白浜と一緒にいるから、余計に静かに見られがちですね。でも、しっかり走り、リバウンドにも参加し、ゴール下で削られている君の頑張りはちゃんと気づいていましたよ。感情を表に出さない君だから、人知れず悩むことも多かったでしょう。この3年間を乗り越えられた上田なら大丈夫です。自信をもってください。

中野へ 2年生になり顧問として関わるようになってから、1年生のときよりも言葉遣いなどがしっかりしていったことに驚かされました（まだまだなところも多いで）。この3年間で、同級生や後輩のマネージャーが減ったり増えたり、とても大変だったと思います。結局同級生も1人の中、よくやり遂げました。適当に見られがちな中野やけど、実際は色々なところで気遣いをしていることは知っています。よく頑張ってくれました、ありがとう。

1年生の時は学年団として、2・3年生では顧問として関わり、3年間共に過ごしてきた3人の卒業は、嬉しさと寂しさと複雑な気持ちになります。部活に入っていない友達が多い中、よく最後まで頑張ったな。素直で優しい君たちなら今後の人生でいたいのがうまくいくで。また一緒にバスケしましょう、お元気で！ 顧問：北川知幸

白浜琉希さん・上田龍希さん・中野明咲さん、ご卒業おめでとうございます。

学年でも授業でも部でも、間接的にしか関わらなかったけど、色んな一面がみれてよかったです。例えば、白浜は1年のときの印象があったのでなかなかそれを私の中で塗り替えられなかったけど、面倒見がよかったり、優しい一面があったのに気づきました。上田は、教えてもらうことに貪欲で何でも聞いてきて、自分のキャバで精いっぱいやること。中野はマイペース。三者三様でそれぞれのペースで成長しましたね。これからの楽しい人生を全うしてください。 顧問：山崎 千穂



48回生女子バスケットボール部の5人へ

内海由菜さん・森下友愛さん・宮岡日葉里さん・八幡姫茉莉さん・三谷依凜さんご卒業おめでとうございます。あなたたち5人が女子バスケットボール部に入学してくれてうれしく思います。同期が5人いるのは、ここ最近では珍しく、多く感じました。

入学当初の西播大会で初戦の姫路東は、46回生・47回生の先輩たちがゲームを引っ張り勝利に導いていましたが、次戦の網干であかねが怪我、琴丘でよっしーが体調不良で欠席、奈桜が最後の最後に怪我。その試合でスタートを余儀なくされた由菜。試合に出て鼻をぶつける友愛（最初から鼻に縁がなかったのね。）実は、私は試合中に、当時の生徒指導部長から訃報が入り、メンタルぐちゃぐちゃ。案の定、入替戦で敗戦しCリーグに降格。そういう始まりをした48回生。そこから、横断幕にもあるようにリベンジ（挑戦）を果たすべく、猛練習をしましたね。フォーメーションを覚えるのに苦戦する姫茉莉。訳も分かってない日葉里と依凜もがむしゃらについて来ようとする姿は素晴らしかったです。その練習の甲斐あってリベンジを果たせたときは、マジで嬉しかったです。2年生では、Aリーグにずっと維持できたのは、47回生の力もありますが、君たち48回生の力でもあります。

2年生の西播大会（8月）が終わり、いざ自分たちの代になったときに、私が苦戦したのはチームを引っ張る力を育てること。あかねや奈桜のキャラクターとは違う由菜。地道にコツコツ・黙々とする由菜をどう鼓舞しようか悩みました。ましてや、スタートが3人残っているチームは、絶対強いはず！！なのに何故・・・？と何度も君たちに問い正したのを今でも覚えています。自我が強い友愛をどう活かすか、姫茉莉（ガード）をもっとも育てなあかんことにも四苦八苦しました。初心者の日葉里をスタートで使うべきか悩みましたが、多分一番危機感を持っていたのは、日葉里本人だと思います。依凜は自分との闘いが多かった日々だったと思います。最後、県総体に3年生5人で出場している姿をみたときは、これまでの気持ちが報われたように思いました。

3年生になり、西播大会（4月）では2位になれる実力をつけていましたが、終わってみれば、Bリーグ降格。入替戦のアップで日葉里が気合入りすぎて捻挫。「まさか」でした。出してくれと日葉里から申し入れがあったにも関わらず、出せなかった私の余裕のなさが、全ての責任だと今も悔やんでいます。みんなが楽しい（受験勉強に明け暮れている…）夏休みを過ごしている中、蒸し風呂状態の体育館でもう一度、Aリーグに振り返こうと練習に励みましたね。全勝するためには、因縁の琴丘高校に勝たなあかんの、2ピリの最後に友愛が相手の肘がふいに鼻にあたり血だらけ。すぐあとに弥玖が前十字断裂。やったことのないメンバーで耐え抜き、3ピリ途中から気合で友愛復活！友愛が抜けてる時間帯は、マジで長く感じた。ギリギリで勝利し、入替戦でも勝ち、Aリーグ昇格したのは、嬉しいよりほっとしたのが大きかったです。そのあとの県大会でベスト32の成績を収めることができたのも、間違いなく3年生が成長したからです。

（思い出を語ると長くなりそうなので、対戦表で割愛します）

1年生				2年生				3年生							
相手の所属	対戦相手	結果	備考	相手の所属	対戦相手	結果	備考	相手の所属	対戦相手	結果	備考				
2022年4月西播大会				2023年4月西播大会				2024年4月西播大会							
B	姫路東	78-61	リーグ戦	A	市姫	42-63	リーグ戦	A	市姫	42-51	リーグ戦				
B	網干	45-78		A	太子	57-51		A	姫路南	46-71					
B	琴丘	32-78		A	日ノ本	18-128		A	日ノ本	22-141					
C	香寺	59-86		入替戦	A	姫路南		61-76	A	上郡		39-37			
Cリーグ降格				B	龍野北	61-31	入替戦	B	太子	62-69	入替戦				
2022年5月県総体				Aリーグ維持				Bリーグ降格							
神戸	神大附中等	74-39	初戦	2023年5月県総体				2024年5月県総体							
阪神	園田学園	30-119	3回戦	神戸	須磨ノ浦	62-57	初戦	阪神	尼崎小田	64-22	初戦				
2022年8月西播大会				阪神	県芦屋	41-78	2回戦	阪神	仁川	62-49	2回戦				
C	上郡	75-37	リーグ戦	2023年8月西播大会				阪神	県尼崎	59-40	3回戦				
C	香寺	132-26		A	琴丘	64-40	リーグ戦	西播	日ノ本	19-162	ベスト32				
C	龍野北	67-29		A	日ノ本	20-133		2024年8月西播大会							
B	姫路東	112-17		入替戦	A	姫路南		49-60	B	龍野	87-32	リーグ戦			
Bリーグ昇格				A	市姫	51-49		B	姫路東	85-47					
2022年9月西播2次予選				B	太子	67-50	入替戦	B	琴丘	49-45					
C	姫路東	53-34	県大会出場決定	Aリーグ維持				A	上郡	67-54	入替戦				
2022年8月市民大会				2023年8月市民大会				Aリーグ昇格（リベンジ達成）							
A	市姫	37-39	初戦	B	琴丘	32-30	初戦	2024年8月市民大会							
2022年10月県大会				A	日ノ本	41-78	準決勝	B	姫路東	37-40	初戦				
阪神	尼崎西	42-80	初戦	2023年10月県大会				A	日ノ本	18-103	準決勝				
2022年11月西播大会				神戸	六アイ	38-81	初戦	2024年10月県大会							
B	相生	65-33	リーグ戦	2023年11月西播大会				神戸	鈴蘭台	59-34	初戦				
B	太子	55-66		A	上郡	48-60	リーグ戦	丹有	三田松聖	24-14	ベスト32				
B	網干	78-38		A	姫路南	53-55									
A	琴丘	33-29		入替戦	A	日ノ本						24-110			
Aリーグ昇格（リベンジ達成）				A	市姫	40-67									
2023年2月県大会				B	琴丘	35-33	入替戦								
但馬	豊岡	49-88	初戦	Aリーグ維持											
				2024年2月県大会											
				東播	三木	59-70	初戦								

由菜へ…私に怒られ、家でも父親に怒られ、しんどかった由菜。文武両道、ほぼ皆勤の由菜にキャプテンを任せてよかったです。妹2人のお姉さんこれからもよろしくね。

友愛へ…見た目強気やのに、真逆な心の持ち主の友愛。2年の県新人で試合中に、言い合ったのはいい思い出ですね。あれが、内面も強くなるきっかけだと思っています。

日葉里へ…いつもにっこにこで、一番上手くなった日葉里。初期から比べてマジでウマになったのは、素直でポジティブだからこそ一番成長したんだと思います。毎年誕生日に、似顔絵書いてくれてありがとう。これからも楽しみにしています。

姫茉莉へ…日常生活から改めてあげることから始めた姫茉莉。3年まで自分を変えることができなかったけど、自分の弱さを認めたときから最強になりましたね。ガード任せて良かったです。

依凜へ…最後の西播大会まで続けるか総体で引退するか悩んでいるときに、自分で決めと言いましたが、最後まで頑張ると聞いたときは、依凜はそういう答えを出すだろうなと思ってました。これからの人生、自分で道を決めることが楽しいからね。

また、みんなとバスケットできる日を楽しみにしています。これからの人生の方が辛いことや理不尽なことが多いと思います。その時は、連絡しておいで。いつでも相談に乗ります。嬉しい報告ももちろん待っています。また、保護者の皆様も試合会場にたくさん足を運んで頂き、温かいご声援をありがとうございました。

女子バスケットボール部 顧問：山崎 千穂

ゆな、ひまり、えりん、ゆい、ひより、卒業おめでとう！

1年生の時は46回生・47回生という偉大な先輩にビビりながら後輩をしていましたね。担任をしていた学年かつ部活の顧問でもあったので、あの1年間のことはとても鮮明に覚えています。2、3年生になってからは隣のコートから練習を少し見たり、公式戦だけ足を運んだり1年生の時ほど近くで見ることが出来ませんでした。が、試合のたびに成長するみんなの姿を見ることがすごく楽しみでした。

君たちは、自分が思っている以上に技術的にも精神的にもたくましく成長しています。一生懸命、素直に頑張る君たちだからこそ、周りの人たちが応援したくなるのです。3年間やり遂げることが出来た、そんな自分に誇りを持ってください。

姫路別所高校に赴任した最初の年に、みんなの顧問をすることができて本当に良かったです、いつも優しく声をかけてくれてありがとう。また体育館で会いましょう！

顧問：北川知幸



バドミントン部

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。短い間でしたが、一緒に部活ができたことをうれしく思います。みんなで笑い合ったり、成長できたりしてすごく楽しかったです。これからもバドミントン部一同応援しています。本当にありがとうございました。

女子キャプテン 稲田 愛結芽

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。約1年という短い期間でしたが、ありがとうございました。先輩方が部活にいと雰囲気がとても明るくて、毎日楽しんで部活をすることが出来ました。卒業されても、明るく楽しんで生活してください。

男子キャプテン 後藤 優太



卓球部

少ない部員でも、しっかりとメニューを決めて練習をし、休憩時間にはみんな笑顔で

和気あいあいとおしゃべりを楽しみ、とてもいい雰囲気です。部活動ができていることに正直驚きました。試合の時もベストを尽くして対戦し、試合後の反省会ではお互いの健闘をたたえながら、それぞれ次の目標を意識していましたね。そんな卓球部になれたのは、まちがいなく啓汰の存在が大きいです。おだやかだけれど芯が強く、いつでも頼りにされる先輩でした。顧問の私も助けられっぱなしでしたね。本当にありがとうございます！好きな人の話や将来の夢の話ができたこともとてもうれしかったです。出会えて本当によかったです。啓汰はいつも柔らかく笑っている印象があります。これからもあなたらしく進んでいってください。応援しています！

鈕持 僚子

1年生の時、ひとりで部活に行き誰とも話せずに困っていたら、すぐに気づいて話しかけてくれたのがけーた先輩でした。先輩との思い出はたくさんあります。試合終わりに遊びに行ったり、一緒にごはんに行ったりできてとても楽しかったです。体育祭の部活動リレーで、先輩からアドバイスをもらって一緒に走れたこともうれしかったです。本番のバトンパスの時に片方の靴を踏まれて靴下のままで走ったことも忘れていません！笑笑 部員で山登りに行った時も、先輩がめっちゃ励ましてくれたおかげで最後までがんばれました。悩みもたくさん聞いてくれて、部活以外でもたくさん関わってくれて、本当に感謝しています。誕生日のプレゼントも本当にうれしかったです。いっぱい聴いてめっちゃ大切にします！先輩もミセスいっぱい聴いてFCに入っちゃってください。一緒にライブに行きましょ！いつも優しく接してくれたけーた先輩、今まで本当にありがとうございました。これからもがんばってください。応援しています！！

濱野 珠生弥

僕が入学した時から、先輩はとても接しやすく話しやすい先輩でした。練習をする時もわかりやすく改善点などを教えてくれました。先輩がいてくれたおかげで今の自分がある気がします。先輩との思い出の中で特に覚えていることは、体育祭の部活動リレーです。先輩が盛り上げてくれたから、結果は負けちゃったけれどとてもいい思い出になりました。そして何よりも、先輩の最後の大会の時の姿が印象に残っています。惜しいところで負けてしまったけれど、真剣な目で対戦する先輩はかなりかっこよかったです！これから自分の夢に向かって進んでいく先輩を心から応援しています。専門学校でもがんばってください。最後になりますが、僕が1年生の時からいっしょに部活をしてくれてありがとうございました。楽しかったから一瞬に感じますね。またいつでも遊びに来てください！

石塚 陽都

最初部活に入った時は、1年生がひとりだけで緊張したけれど、先輩がとてもフレンドリーな感じで接してくれたのですぐになじむことができました。半年という短い間だけでしたが、部活を通していろいろな思い出ができました。いちばん印象に残っているのが体育大会で一緒にリレーの練習をしたことです。先輩は本気で取り組んでいて、その後ろ姿がとてもかっこよく見えて輝いていました。靴も速く走れるようにしてやる気に満ちていてすごかったです。卓球部は部員が少ない中でもちゃんと練習できているのは先輩のおかげだと思っています。本当にいろいろなことでお世話になりました。これからも、部活の時のようなやる気に満ちた感じで、自分の目指すものに向かって進んでいく先輩を応援しています。まっすぐに努力を重ねていく先輩の姿は本当にかっこいいです。これからもがんばってください。今まで本当にありがとうございました！

杉本 武



剣道部

伊藤壬くん、卒業おめでとう。

部活動はもちろん、2年生のときは担任としても関わる機会が多くありましたね。

剣道部では同級生も後輩もおらず、先輩方が引退してからは部員が1人だけという厳しい状況の中、本当によく頑張りました。団体戦が組めず、個人戦で結果を出すしかないというプレッシャーもあったと思います。それでも、その重圧に負けることなく、2年生からのすべての大会で地区予選を勝ち抜き、県大会に出場し続けたことは本当に素晴らしい成果です。

また、稽古相手が顧問である私しかいないという環境の中で、工夫しながら稽古を重ね、努力を続けた姿には感心しました。私がもし同じ立場だったら、続けることはできなかったかもしれません。それでも、決して妥協せず最後までやり遂げた経験は、きっとこれからの人生において大きな財産となることと思います。

剣道部での活動を通じて、剣道の技能だけでなく、人間的にも大きく成長したことと思います。ここで学んだことを生かし、これからの活躍を期待しています。2年間、本当にありがとう。

【剣道部顧問】梶原 洋次



弓道部の先輩方へ

ご卒業おめでとうございます。短い期間でしたが、たくさんの事を教えて下さりありがとうございました。弓道を始めた頃は、上手くできるかわからなかったけど先輩方が丁寧に教えて下さったおかげで最初よりはとても成長できたと思っています。

まだまだ先輩方には届きませんが、これからも自分なりに頑張っていきます。先輩方に頼る事があると思いますが、その時はよろしくお願いします。

本当にありがとうございました。(来年、部員が増えるように頑張ります)。

弓道部 1年濱崎・大川より

吹奏楽部



ご卒業おめでとうございます。短い時間でしたが、一緒に演奏することができて楽しかったです。これからそれぞれの道に進むことと思いますが、まだ見たことのない自分へ会えるように、様々なことに挑戦してください。応援しています。

顧問：西村 咲

卒業おめでとう。3年間、お疲れさまでした。顧問もよく変わり練習環境も整わない中、最後までやり切った皆さんはとても素晴らしいしよく頑張りました。これからも、様々な困難なこととぶつかるとはありますが、自分の夢を叶えるために頑張って下さい。いろいろ迷惑かけてごめんなさい。皆さんと出会えたことに感謝しています、ありがとう。幸せになってね。

顧問：秋元太郎

ご卒業おめでとうございます。先輩方は、いつも優しく笑顔で接してくださり、とても嬉しかったです。卒業されるのは寂しいですが、私たちも先輩方のように頑張っていきます。今までありがとうございました。

部長：山本愛理

先輩方、ご卒業おめでとうございます。1年半の間、部活ではお世話になりました。短い時間でしたが、先輩たちと一緒に演奏できて楽しかったです。卒業後も頑張ってください。ありがとうございました。

副部長：内海奏人

放送部



一人ひとりに個性があって、本当にいろんな才能を持っていて、とにかくすてきな奴だと思っていました。ひらめきや想像力にあふれていて、臨機応変に動けて、みんなで楽しみながら活動している姿に感動していました。これからそれぞれの道に進んでいくみなさんの門出を、心から応援しています。また会いましょう！

顧問：鈿持 僚子

ご卒業おめでとうございます！

一から司会や編集のしかたや機材の使い方など教えていただきありがとうございました。また、私たちが練習に苦勞しているときにアドバイスをしていただいたり、相談に乗っていただき、とても助かりました。先輩方の原稿を読んでいる姿や切磋琢磨している姿は私たちの憧れでもあり、尊敬です。これからも楽しいことや大変なことなどいろいろあると思いますが、頑張ってください！応援しています。

放送部一同

美術部



卒業おめでとうございます。高木さん、田中さん、濱口さん、大久保さん、美術部の活動ご苦労様でした。この三年間、いろいろな制作活動を経験されことと思います。その経験を生かして、卒業後も、制作活動を続けられることを期待します。 顧問：岩崎敏郎

親愛なる3年生、こんにちは！

ご卒業おめでとうございます。1年前、美術部のアイドル的存在だった籠谷様が卒業し、美術部には悲しみだけが残りました。ですが、先輩たちは気を奮い立たせ、美術部をもっと盛り上げようと頑張ってくれました。例えば文化祭の時は展示に向けて後輩たちに多く作品を作るよう指示をし、また、画集の制作という新しい取り組みを始めたことで、作品展は大成功を納めました！

先輩たちの卒業をもって、僕が新たな美術部を築き、残された部員で頑張っていきます！今まで本当にありがとうございました！先輩たちの今後に幸多からんことを！！

部長 福永龍之介

高木さん、田中さん、濱口さん、大久保さんへ

ご卒業おめでとうございます。3年間お疲れ様でした。

高木さん、部長として部活を引っ張ってくれてありがとうございました。責任感があり、周りを見て行動ができる高木さんはみんなからとても信頼されていましたね。また、色んなことに積極的に挑戦する姿勢とてもカッコいいないつも思っていました。これからもその姿勢を大切に成長してください。

田中さん、授業や部活で作る作品がいつも魅力的で、どんな作品が完成するかいつも楽しみでした。ただ、締め切りを守ることや体調管理も大切ですので、少しずつ意識してみてください。好きなものを魅力的に表現できる田中さんの才能がこの先、さらに輝くことを期待しています。

濱口さん、いつものんびりとしていて変わらぬ表情、マイペースな姿勢は、1年生の頃からすごく親しみやすかったです。濱口さんのコツコツと努力できるその才能は、どんなことも乗り越えられる力になるので、時には自分から積極的に行動して、新しい発見を楽しんでみてください。

大久保さん、大久保さんの雰囲気である儚さと優しさが作品に表れていて、唯一無二の透明感ある色彩表現が魅力的でした。人見知りで控えめな大久保さんですが、その内に秘めた才能をもっと表現してみてください。色彩豊かな作品を通じて、自分の世界を広げていくことを楽しみにしています。 川崎麻由

軽音楽部



セキグ 出会ったときには、もうすでにしっかりものでがんばりやさんで頼もしい部長でした！セキグがいないと軽音楽部はまとまらない。眉間にしわを寄せながら、いろいろ考えながら、笑顔でみんなを支えてくれてありがとう。

岩田 音楽への愛は誰よりも強い！真面目にコツコツ練習する姿は、みんなのお手本でした。セキグと2人で部活動を支えてくれました。演奏中のかっこよさはピカイチでした！

木戸 いろいろありましたが、最後の文化祭でドラムを叩いている姿を見て、感動しました。大好きな音楽、ぜひなんらかの形で続けてください。大会で賞を取りたいという強い気持ちは、後輩に受け継がれていますよ。

金川 時間を守る、約束を守る、周りの人を大切するなど、部活で学んだ大切なことを卒業後も活かしてください。少しずつ成長する姿を見られてよかったです。現状維持にとどまらず、前にすすんでいってください！

引退までよくやり切ってくれました！最後までやり抜く難しさを実感したのではないのでしょうか。3年間でたくさんの経験を通して得たものが、これからのあなたたちを支えてくれる日がきっと来ます。自信をもって、新しいステージへ向かってください！

NO MUSIC, NO LIFE

顧問：橋本裕子

軽音楽部の岩田依弥さん、木戸直也さん、セキグ絵梨果さん、金川蓮さん、
ご卒業おめでとうございます。

高校生活は、皆さんの人生の中で大切な3年間です。軽音楽部で先輩になってからは、自分のことと、軽音楽部のチームワークや全部員のバランスも考えながら努力をされたのだと思います。中でも、部長のセキグさんと副部長の岩田さんは、私が部活の日々の確認のために声をかけると、いつも快く応じてくださいました。直ぐに済む短い確認とはいえ、簡単ではなかったこともあったと思います。皆さん、本当にありがとうございました。

素晴らしい人生を歩んでください。

軽音楽部副顧問：黒田史子

写真部の部員たちへ



卒業おめでとうございます。思い返すと、2022年4月に多くの生徒が入部届を持ってきたことにとっても驚きました。部員が少なく、部活動存続を心配する必要がなくなり、ほかの目標を見つけることができたのは、君たちが集まってくれた結果です。とくに、写真甲子園に応募すること自体が、夢のまた夢でした。3人チームを組むことが無理だったので。結果的には勝ち上がりませんが、よく頑張ってくれたと思います。

3年間の活動お疲れ様。この部活での経験が、君たちの将来に何かしらの形で役立ちますように。

写真部顧問：片山泰宏

コンピュータ部



先輩方ご卒業おめでとうございます。一年間という短い間でしたが一緒に部活動ができて嬉しかったです。先輩方には、色々なことを教わりました。そのおかげで、タイピングのスピードが速くなったり、文書作成などの知識や技能を習得できました。部活動中は気さくに話しかけてくださったりして先輩後輩関係なく楽しく活動することができました。先輩方が卒業後、不安もありますが、来年度新1年生をしっかり指導できるよう頑張ります！高校を卒業しても、それぞれの道でご活躍されることを部員一同応援しています。

50回生 久保、山村、石田

ボランティア部



「コミュニティ食堂きらら」での活動を中心に、3年間、ボランティア部らしい活動が出来ましたね。兼部しながらの活動だったので大変なことがたくさんあったかと思われます。

部長の山田さんと副部長の濱口さん、そしてボランティア登録で活動してくれた小野君は、それぞれが素敵な志を持っており、後輩への適切なアドバイス、思いやりのある行動を通して、意義あるボランティア活動を継続してくれました。みなさんが、いつも奉仕の精神を大切に、優しい行動を心がけてくれたことに感謝しています。今後もボランティア精神に更に磨きをかけることを意識し、新しいステージでも、それぞれの個性を生かして活躍されることを期待しています。

3年間の前向きな活動、ありがとうございました。

ボランティア部顧問 天野弘之・片山泰宏



学年団より

人の世も弱肉強食？

あなたにの周りで笑っている人はどんな人ですか？

成功している人、願いが叶った人、目標を達成している人
思い通りに事と進められる人 etc...

その人達の日常を覗いてみるにはありますか？

精一杯努力している、牽と食いばっく辛抱している、周りに惑わされずコツコツ取り組んでいる、周りの声に耳を傾け試行錯誤している... そこで発見!!

頑張る人が強くなり、強くなると人が笑っている!!
そしてその人達は、強くなる過程を楽しんでいる!!と

弱者と食すつもりはなくても、いつも笑っている
と願う。そのために強い人間になりにく、だから
努力を続けています。どんな状況でも楽しみながら...

皆さんもそれぞれのペースで構わないから
それぞれの強さをもちに人間になってください。
そして、一緒に笑顔で人生を楽しめる

大人へと成長していきましょう!!

(そう、私もまだ成長の途中です。)

48回生3学年主任

山下 麻衣子

「負けるな自分に」はバスケットボールのある名将から中学時代に頂いた言葉。

以下 全文 (スレぽりに思い出してみまいたが、覚えていたもんぢすね。)

負けるな自分に
人生は厳しいぞ
なんで厳しいかわかるか
負け泣くより
勝って泣く
人間にしたいんだ
人生は自分との闘いだ
だめだと思いうのも自分
やるぞと思いうのも自分
さあ、今日も元気で頑張ろう!!

中学時代、試合があるごとに円陣になって叫んでました。それが今も自分を鼓舞する言葉になっています。これからが、君たち一人ひとりの人生です。だめだと思いうのもやるぞと思いうのも自分です。自分に負けるなよ!ずっと17人のことを応援しています。M

、 48回生のみなさん、卒業おめでとう!!

これから社会に出るみなさんに、わたしが大切にしている言葉を伝えます。

～ 松永(わたしの旧姓です)家 家訓 ～

「ああいくま」	あ せるな
	お こるな
	い ばるな
	く さるな
	ま けるな

この言葉は芸人のコロッケさんがお母様から教えられた言葉として有名です。私が思春期真、只中の時期は気づけばリビングの壁に貼られていました。嫌なことがあったとき、つらいとき、壁にぶつかったとき、今でも気が付くとこの言葉に支えられています。大切にしているとはいえ、実行するのはなかなか難しく、日々焦りまくり、怒りまくり、みなさんの前ではえらそうなことを言いまくり、腐りそうにな

り、いろんな欲にも負けまくります。この5つを実行できるような、余裕のある大人を目指して、日々努力中です。

卒業するみんなに、特に意識してほしいのは「く」です。社会に出ると、想像以上にいろんなことがあります。楽しい、うれしいこともたくさんあると思いますが、それと反対のこともきつとたくさん経験します。そんな時に、「くさるな」！

もういいわ、と投げやりになってしまえば、それより前には進みません。腐らず、しがみついていれば、まっすぐでなくても道は見えてくるはずです。

それぞれのぐねぐね道の先で、またいつかどこかで笑顔で会いましょう。

3年1組 担任 橋本 裕子

皆さんとはほんのおずかな期間しか一緒にいられたけれど、
「(良くも悪くも)いろいろあったなあ」としみじみ思い出しています。それらの出来事
の中で皆さんのいいところはたくさん見つけたつもりでいます。ひとつひとつを
挙げていくと、「お前さんばキャラちゃうやろ!!!」と叱られそうなので割愛
しますが、概して言うに「かわいい」ということです。これは見た目の話ではなく、
言動のP通所に「憎めないなあ」と思わせる部分をもっているという
ことです。皆さんがこれから出会う人々もそれらに気づいて、皆さんを愛して
くれることだと思います。だからこそ、皆さんのいいところに気づいてもらう
ためにも、「ありがとうございます」「お願いします」「すみませんでした」と
いった言葉と言える人であってほしいな、と思っています。

さて、お別れです。なかなか難しい時代、厳しい世の中にいる
我々ですが、それでも楽しいことや嬉しいことを一つでも多く見つけて
生きていてほしいと思います。

最後に、私が皆さんと過ごした2024年に出会った曲の素敵な
歌詞を向けには筆を置こうと思います。

この星に生まれたこと
この世界で生き続けること
そのすべてを愛せるように
耳一杯の祝福を君に

いい歌詞でしょう？ そう、ご名答。カンタムの曲です。観てね。

3年2組担任 牧直昂

先、從、隗、始

48回生のおなごん、ご卒業おめでとうございす。自分を大切に、他人を大切に、幸せに生きて下さいね。ということで、最後に伝えたい私の気持ち。コレなので、君たちに偉そうに講釈垂れることのできる機会も最後ということで、もう少し書き出すので、頑張ってくださいね。

この文章のタイトルである“^ヨ先^ハず^ハ隗^ハより始めよ”ですが、私が大学専攻した中国古代史に興味を持ち、かけとなった横山光輝氏のマンガ『史記』にて登場するお話です。ある辺境の国の王が、自国を強くするために優秀な人材を集める案を孰隗^{かくかい}という人物に尋ねた際の返答が、“先ず隗より始めよ（まず私の待遇を良くすることから始めなさい）”でした。孰隗が欲深いおじさんだ、という話ではなく、自分程度の人間が好待遇であれば、その噂を聞いた優秀な人物が、更に重用してくれると思、て集まてきますよ、というアドバイスです。これを実践した燕王の下には、名将楽毅が…。長くなるのでこの辺りで止めときます。

この話を私は「誰かに何かをして欲しいなら、まず自分が動くべき」と解釈しました。そして、この考えを実践したいと思いつながら日々を生きています。誰かにスリッパを揃えて欲しいなら、私がまずスリッパを揃える。挨拶をして欲しいなら、私がしっかりと挨拶をする。

というように。

誰かに優しくされたいのなら、まずは自分が誰かに優しくしよう。これが、誰かと関らずには生きていけない人間社会を幸せに生きるコツなのではないかな、と思います。

どうかお元気で。またどこかで会いましょう。 